
守りたかったモノ

tanaka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

守りたかったモノ

【Nコード】

N8110M

【作者名】

t a n a k a

【あらすじ】

闇に生きる人間には光を求める事は出来ない。
そんな悲しい話。

——この両手に余る幸せを守りたかった。
初めはそれだけのはずだったのに……

生まれてからずっと幸せとは無縁の所で生きてきた。
あるのは人間の死骸と咽るような血の香り。

そんな幸せとは程遠い世界に居た自分にも初めて幸せが訪れた。
心が休まり醜さとは無縁の時間。

そんな時間を満喫していたかったが、自分には許されなかったよう
うだ。

再び訪れる死体と血だまりの世界。
だけど今の自分はある時とは違う。

今は守りたい世界がある。守りたい人達がいる。
だから再び両手に武器を持ち、現実に向かった。
自分自身の幸せを守るために――

殺して、殺して、殺し続けた。

周りの人間全てを殺し続けた。

そうして殺し続けている時、気がついてしまった。

そして気がついた時には自分の守りたかったモノまでも殺してい
た。

「は、はは………」

どうして守りたかった人達が死んでいるのだろうか？

そんな事は分かっている。自分で殺したんだ。

自分の幸せを守るために殺していたのに、いつの間にかその幸せ
までも殺していた。

きっとそこで自分の心は壊れてしまったのだろう。

泣き叫びながら他の全てを殺していった。

だって、もう二度とあの時間は戻らないのだから。

我儘で八つ当たりだと分かっても、それでも——自分には殺す事しか出来ないから。

ああ……どうして世界はこんなにも醜い人間に優しくないのだろうか。

人に誇れるような生き方はしていないけど、それでも人並みの幸せを過ごしてもいいじゃないか。

神様はそれすらも自分には許さないと言うのですか？

本当に自分はただ、この両手に余る幸せを守りたかっただけなのに。

それだけのはずだったのに……

一番守りたかったモノも守れず、最終的には守りたかった理由さえ分からなくなっていた。

(後書き)

なんという中二病な話。でも、書きたかったんです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8110m/>

守りたかったモノ

2010年10月28日07時03分発行